守山キリスト福音教会礼拝　　2020年12月6日上田勇矢牧師

マタイ６章　「日ごとに必要な糧を与えてください」

マタイ６章 9−13節「主の祈り」

9「ですから、あなたがたはこう祈りなさい。
『天にいます私たちの父よ。御名が聖なるものとされますように。
10 御国が来ますように。みこころが天で行われるように、地でも行われますように。
11 私たちの日ごとの糧を今日もお与えください。
12 私たちの負い目をおゆるしください。私たちも私たちに負い目のある人たちを赦します。
13 私たちを試みにあわせないで、悪からお救い下さい。
〔国とちからと栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン〕」

メッセージの中心は「**神の国が来ました！**」

マタイ 4:19 は招きの言葉
4:20「彼らはすぐに網を捨ててイエスに従った。」
今日、イエス様が近寄ってくださり、招いておられます。
イエスに近づく人／遠ざかる人々、がいる

＜日ごとの糧＞
「毎日の必要のために祈っていいんですよね？」
マタイ 6:25「･･･自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのは…」

6:32「･･･あなたがの天の父が知っておられます。…これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」

「糧」ギリシャ語「アルトス」(αρτος)「パン」
マタイ 4:3

＜本当に必要な日ごとの糧とは？＞
マタイ 4:4**『人はパンだけで生きるのではなく神の口から出る一つ一つの言葉で生きる。』**

アモス 8:11 の預言「**見よ。その時代が来る。― 神である主の言葉 ―そのとき、わたしはこの地に飢饉を送る。パンに飢えるのではない。水に渇くのでもない。実に、主のことばを聞くことの飢饉である。」**

ヨハネ6:35「･･･『わたしがいのちのパンです。わたしのもとに来るものは決して飢えることがなく･･･」